



第11号

花だより

平成27年2月

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【沼田支部】 報告者：杉原 悦子 花の輪を広げるために～講座を開講～

大塚公民館は、特技を持った地域住民をボランティア講師として受け入れ、住民同士で学びあう講座の開催に取り組んでいます。

沼田公民館で開催した「花いっぱい運動」講座の卒業生が、3月から講師として大塚公民館で出前講座を行うことになりました。講師は、花づくりの輪を広げるために立ち上がった、花いっぱい運動沼田支部の谷川恵子さんです。

種まきからの作業なので、水やり、ポット上げ、定植等の作業に協力していただき、お花を愛する方に集まっていたきたいと念じています。

種をまいて、発芽に喜び、成長していく花と語り、やがて美しく咲き誇る花たちを送り出す喜びは、花いっぱい運動に関わった人が味わう特別な感情です。大塚公民館や近隣の庭先が春爛漫となることを楽しみにしています。

谷川さん、沼田支部もお手伝いしますから頑張ってくださいね！！

講座の詳細は下記のとおりです。大塚公民館だよりも掲載されていますのでご覧ください。

『種まきからはじめる花づくり講座』

土づくりやトレイに種をまく方法、水やりの目安などを学びます。

日 時：3月6日（金）

午前10時～11時半

対 象：成人 定 員：20人

講 師：まちのボランティア 谷川恵子さん

持参物：手袋、筆記用具

申込み：大塚公民館へ電話（849-1841）
か来館で



【安東支部】 報告者：上長者 辰雄 八木梅林公園の梅と満開の蠟梅

「梅一輪 一輪ほどの 暖かさ」・・・これは、松尾芭蕉の弟子服部嵐雪の詠んだ俳句です。一般的には、「梅の花が一輪、また一輪と咲くにつれて、すこしずつ暖かくなっていく。」という意味に解されています。一方、「梅が一輪咲き、それを見るとかすかではあるが、一輪ほどの暖かさが感じられる。」と解する考え方もあるようです。

安佐南区内の梅の名所は、八木梅林公園です。この公園には、紅梅、白梅が多くあります。梅は、桜などに比べ休眠が浅い



【八木梅林公園の梅】

ため、開花時期が天候によって大きく左右されます。八木梅林公園の梅は、つぼみが膨らみ色付き始めていました。2月上旬には開花するでしょう。例年満開時には、梅祭りが開催されます。

緑井二丁目の某宅の蠟梅が、満開で甘い香りを漂わせていました。蠟梅は、バラ科サクラ属の梅とは別属で、花卉が蠟のような色であり、かつ蠟月（旧暦12月）に咲くことからその名がつけられたと言われています。

安佐南区役所の花壇の一角に植えている葉牡丹の間に、桜草を植栽しました。



【区役所の花壇】

葉牡丹は、2月下旬には茎が伸びて観賞期が終わります。その頃桜草が開花することを期待しています。桜草は、種類が非常に多い花です。育て方は容易で、花から種が落ちて自然に発芽します。種を採り種まきして苗を育てることもできます。

【祇園西支部】 報告者：小田 稔、境 幸美
東山本川土手はいつも花いっぱいです!!

平成5年、県営西山本住宅東側の東山本川緑地に、東山本川の河岸を整備して「ふれあい広場」が造られました。きれいな歩道ができ、ベンチが置かれ、11個ある花壇は、各種団体が草花を植えて維持管理していました。

しかし、最近では花壇に雑草が生い茂り、手入れも行き届いていませんでした。

そこで、住民の散歩道、子どもたちが行き交う川土手を、四季の花で彩ろう!!と「東山本川花いっぱい運動」を呼びかけ、平成20年に「“ふれあい広場”を守る会」を立ち上げました。東山本川土手の草を刈り、花壇に花や球根を植え、再整備をして復活させました。同時に、11個の花壇を、安佐南区役所の「安佐南区花いっぱい運動」の登録花壇に登録しました。

現在では、花壇に四季折々の花（葉牡丹、パンジー、ビオラ、金盞花、水仙、金魚草、ゴテチャ、ジャーマンアイリス、キキョウ、シャクヤク、ダリア、アジサイ、サルビア、ユリ、マリーゴールド、ストック、アメジストセージ、ラベンダーセージ、菊、ネリネ等）が咲いています。

平成25年には、1500本の芝桜を川土手に植え、昨年は、タチアオイを70本植えました。



【川土手の芝桜（H26年4月撮影）】

地域住民の方々のご協力で、素晴らしい「ふれあい広場」になりました。子どもから大人まで、地域住民の憩いの場として親しまれています。



【長さ90mの遊歩道を鮮やかな花が彩っています】

♪パンジー・ビオラの育て方のポイント♪

パンジー・ビオラは、冬から早春まで長く咲き続け、少々凍っても平気な程、寒さに強い花です。今回は、育て方のポイントをお伝えします!!

- 水やりは、冬場は数日おきに、暖かくなったら毎日行う。土が乾いたらたっぷり水をあげる。花に水がかからないように注意する。
- 土は、市販の培養土の利用がおすすめ。
- 前もって用土に緩効性の化成肥料を混ぜ、元肥を施してから花を植える。
- 肥料は、寒い間は月に1回、暖かくなり花つきが多くなったら月に2～3回、化成肥料か液肥を追肥します。（マグアンプK、ハイポネックス等）
- 暖かくなったら、病虫害の予防にオルトラン等の粒剤を土にまく。
- 花が終わったら、カビと株が弱るのを防ぐため、こまめに花がらを摘み取る。
- 伸びた枝は、3分の1くらい切り戻すと再びきれいになります。

以上のことは、大体の花に適応できる育て方のポイントですので、参考にしてみてください。

※肥料や薬剤の量は、パッケージ等に記載してありますので、適量を施してください。



【雪の下でも寒さに負けず
可憐な花を咲かせています】

【沼田支部からのお知らせ】

花と華の宿泊研修会 参加者募集!!

「ゆっくりと お湯につかって

花を愛で みんなと一緒に華を観る」

あなたも参加してみませんか??

日 程:平成27年4月27日(月)～28日(火)

研修先:兵庫県立フラワーセンター&宝塚歌劇

宿泊先:有馬温泉有馬御苑

対 象:どなたでも 研修費:39,800円

講 師:花づくり指導者 松島 省三 さん

申込み:848-0626 (玉代さん)

又は848-0394 (杉原さん)